

平成 25 年度久留米市介護事業所調査について

1 調査の目的

平成 27 年度から平成 29 年度を計画期間とする「久留米市第 6 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」策定のための基礎資料とするとともに、保険者として介護事業所における運営状況を把握することを目的とする。

2 調査対象・方法等

(1) 調査対象・回収状況

平成 25 年 8 月～10 月の間に給付実績のある市内全事業所（居宅サービス事業所（医療みなし及び居宅介護支援事業所を含む。）、施設サービス事業所及び地域密着型事業所）に対して、サービス内容に応じ、在宅系サービス、施設系サービス及び居宅介護支援事業に区分して調査を実施

調査区分	対象事業所数	有効回収数	回収率
①在宅系サービス	355	296	83.4%
②施設系サービス	128	102	79.7%
③居宅介護支援事業	88	80	90.9%
合計	571	478	83.7%

*在宅系サービス：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービス、福祉用具貸与、福祉用具販売

*施設系サービス：短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(2) 調査方法

郵送配布、郵送回収（記名）

(3) 調査期間

平成 26 年 1 月 22 日（水）～平成 26 年 2 月 7 日（金）

3 主な調査項目

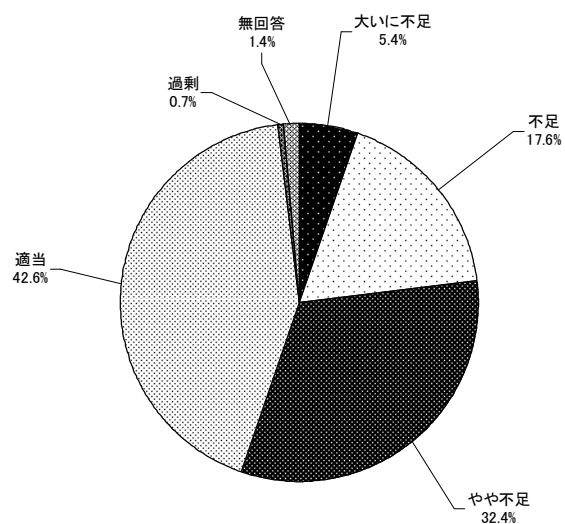
調査項目	主な内容
基本属性	所在地、実施サービス、経営形態等
従業員の確保・雇用管理の状況	従業員の過不足状況 処遇改善加算への取組み状況 早期離職防止・定着への取組み状況
サービスの質の向上への取組み	研修等の実施状況など
その他	防火・災害対策の実施状況 運営上の課題 など

4 主な調査結果

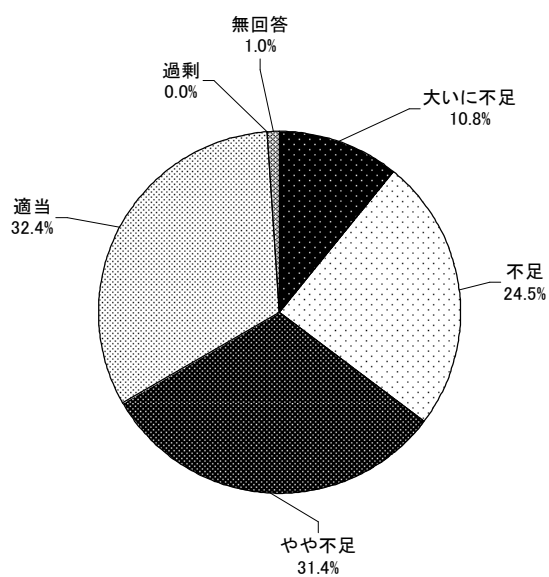
(1) 従業員の過不足状況

従業員の過不足状況について「大いに不足」「不足」「やや不足」と回答した事業所が、在宅系サービス 52.4%、施設系サービス 66.7%となっている。

①在宅系サービス事業所



②施設系サービス事業所

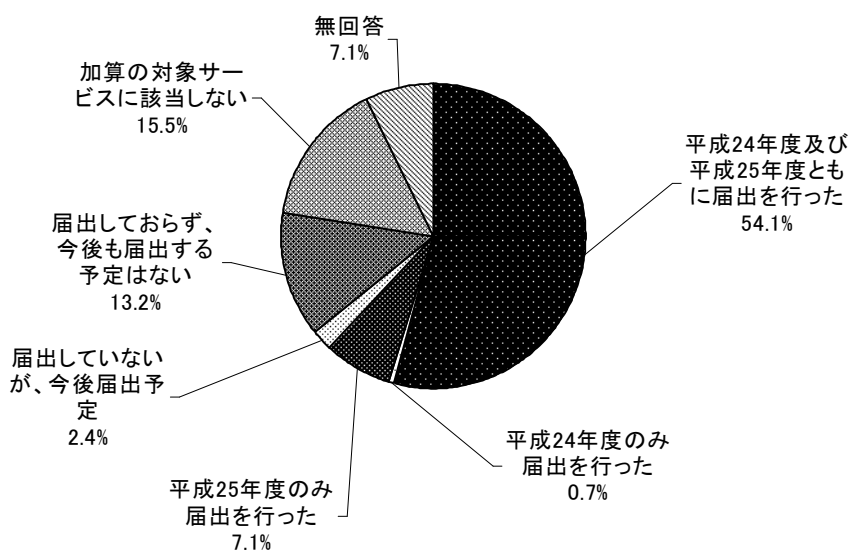


(2) 処遇改善加算の届出状況

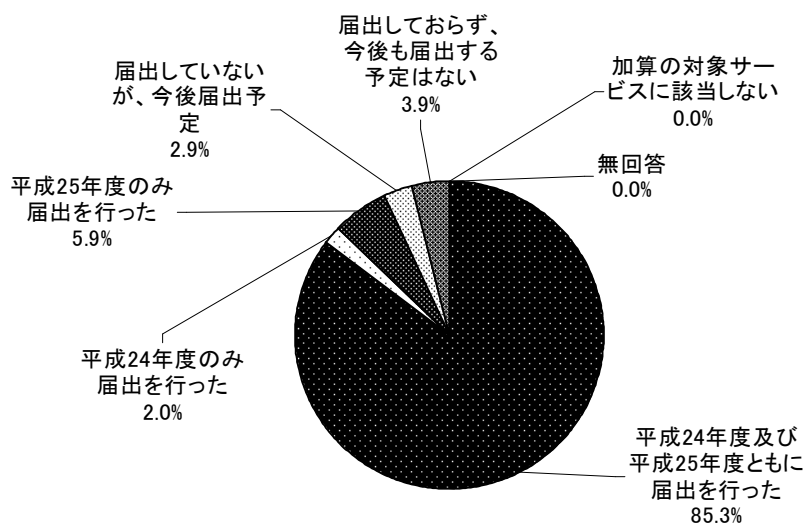
申請予定まで含めると「在宅系サービス事業所」で 64.3%（「加算の対象サービスに該当しない」事業所を除くと 76.0%）、「施設系サービス事業所」で 96.1%が申請している。

※処遇改善加算…介護職員処遇改善交付金相当分を介護報酬に円滑に移行するために、例外的かつ経過的な取り扱いとして創設された加算（期間は平成 27 年 3 月 31 日まで）

①在宅系サービス事業所



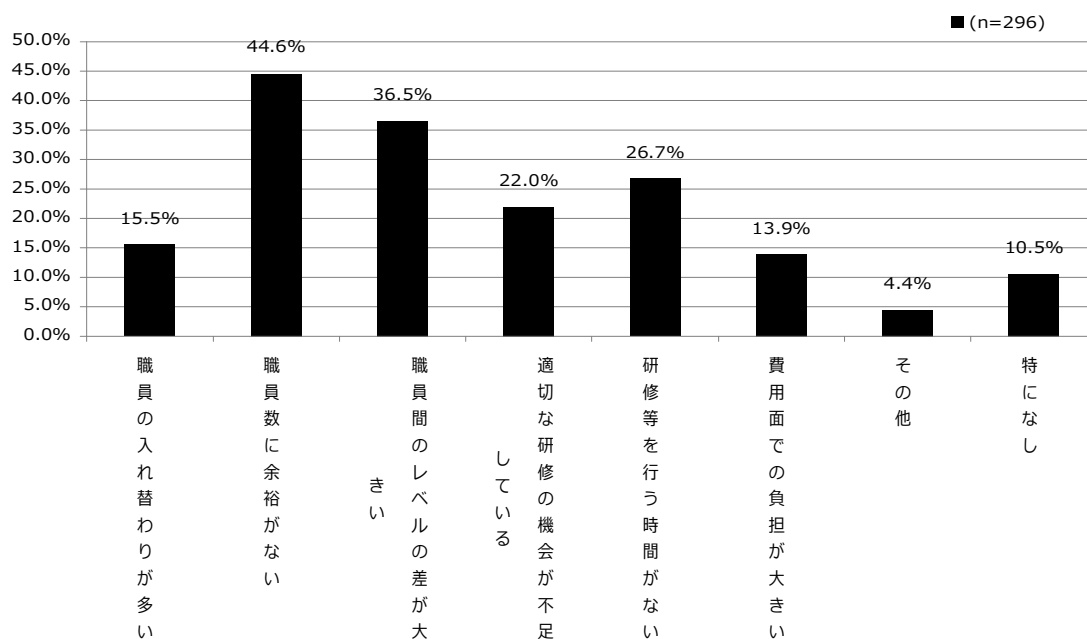
②施設系サービス事業所



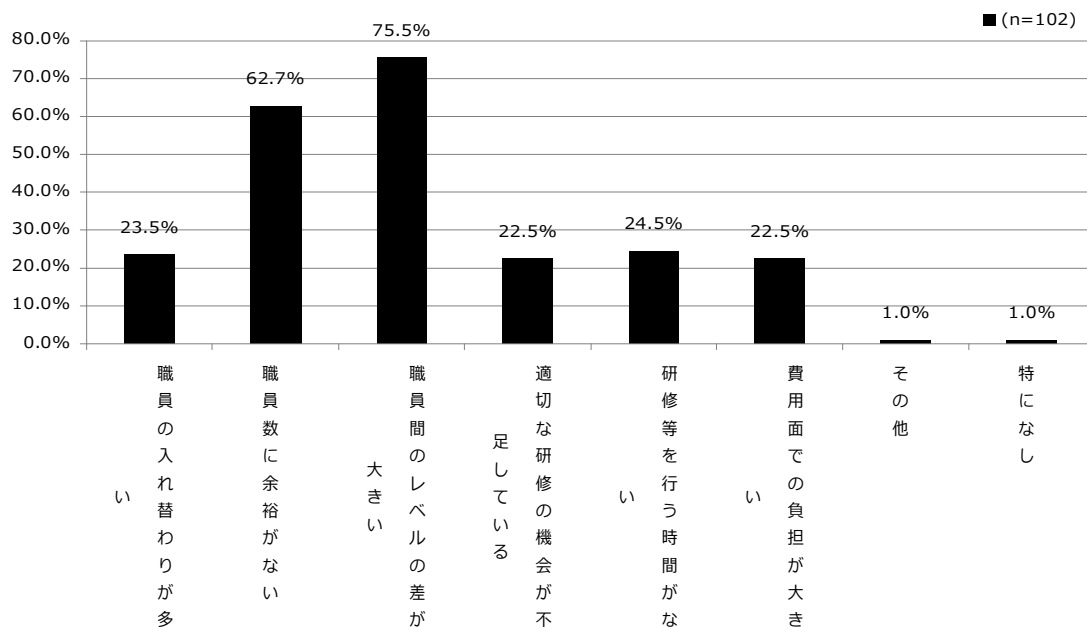
(3) サービスの質の向上を図る上での課題

「在宅系サービス」「施設系サービス」事業所共に、「職員間のレベルの差が大きい」「職員数に余裕がない」の割合が多くなっている。

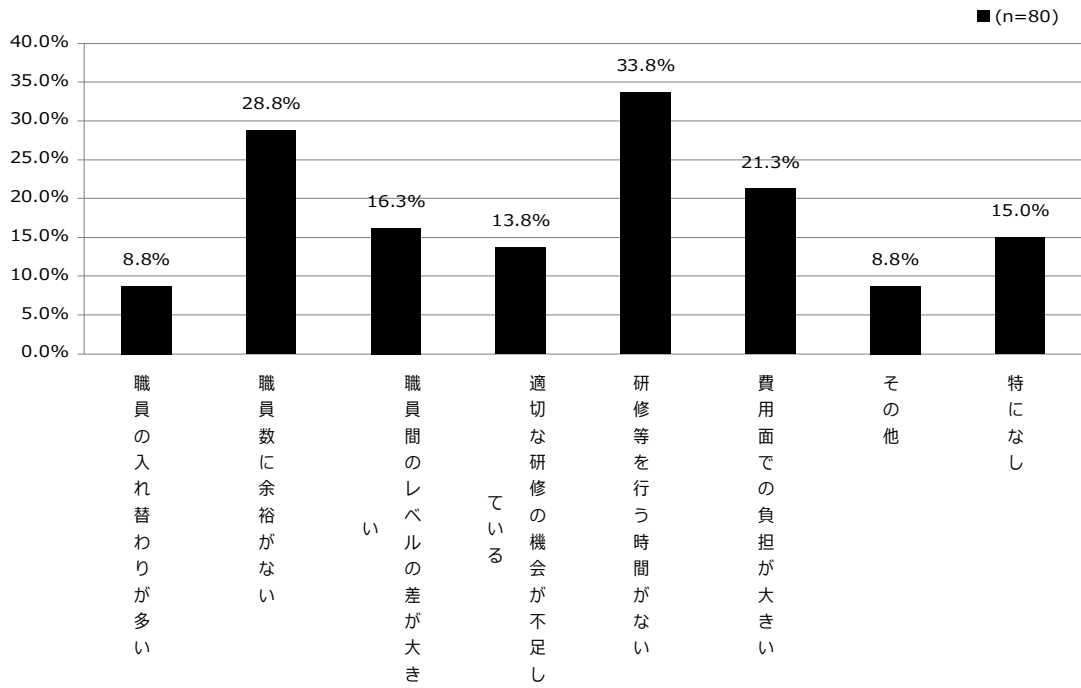
①在宅系サービス事業所



②施設系サービス事業所



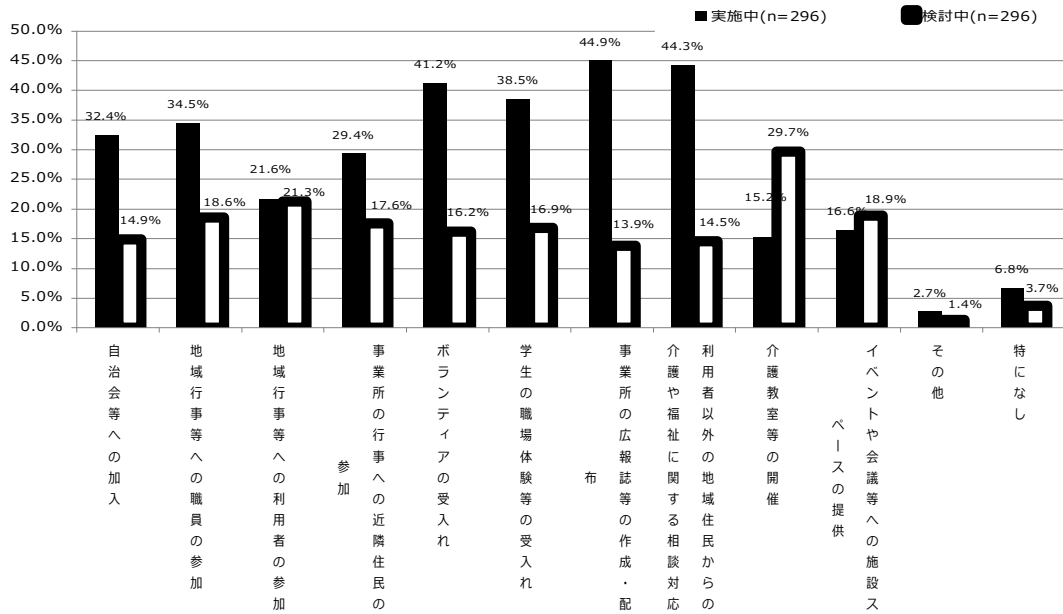
③居宅介護支援事業所



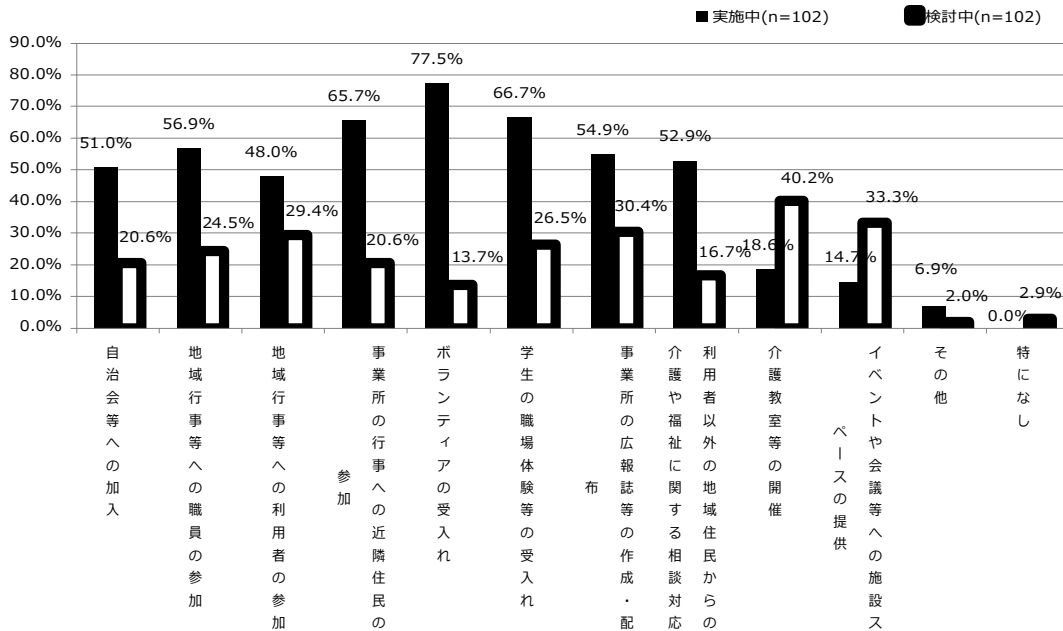
(4) 地域との連携の取り組み

「施設系サービス事業所」では、すべての事業所が何らかの「地域との連携の取組み」を行っている。また、「在宅系サービス事業所」に比べても取り組み率が高くなっている。

①在宅系サービス事業所



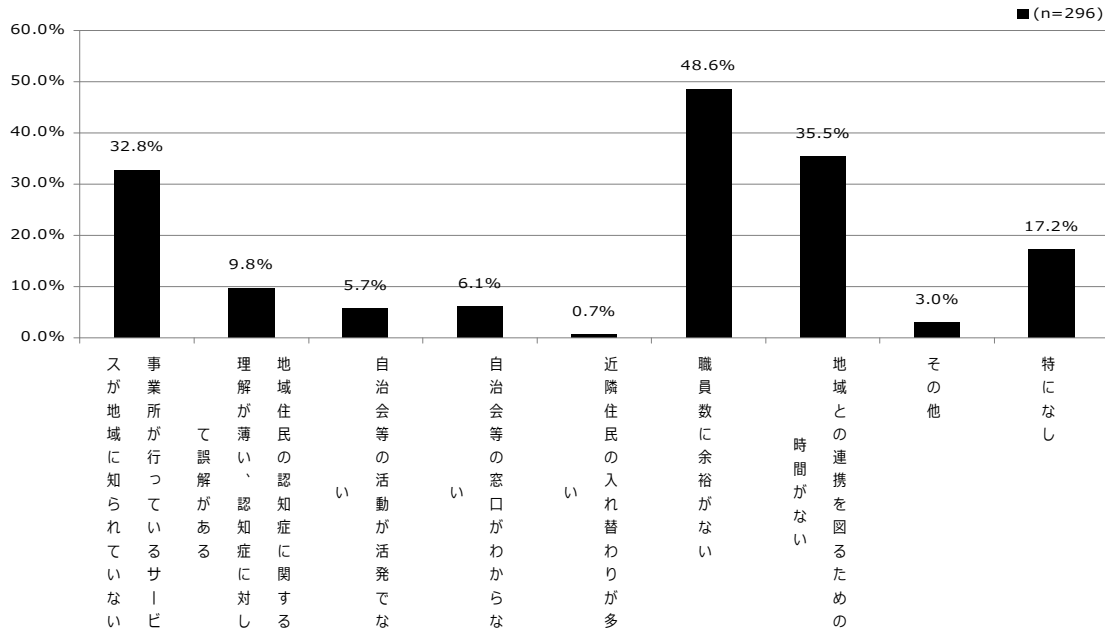
②施設系サービス事業所



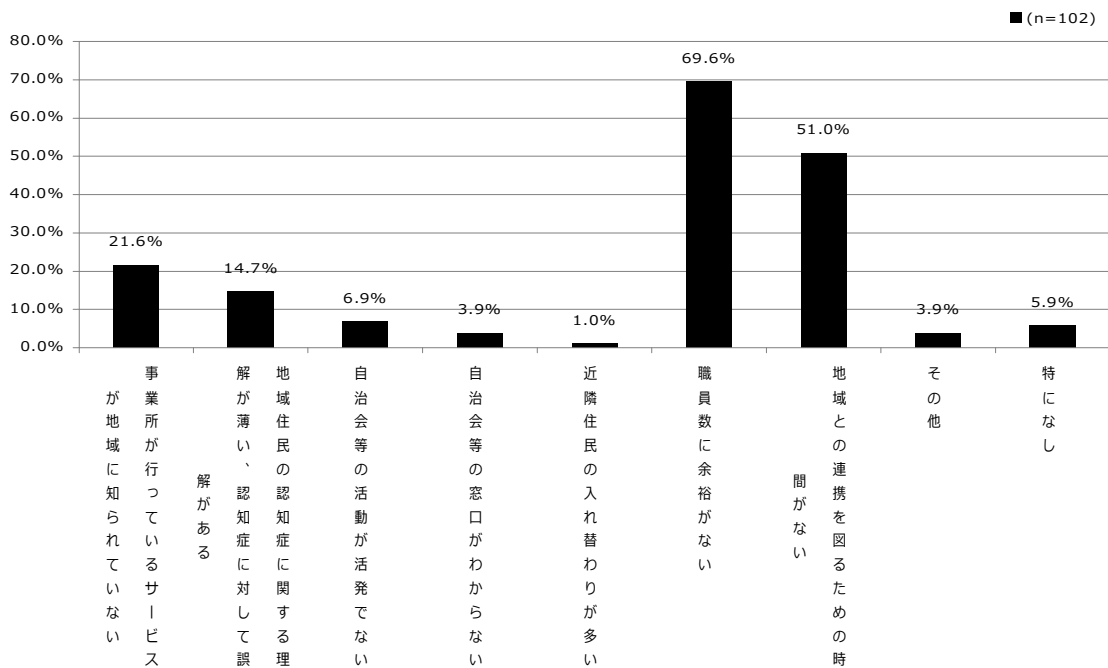
(5) 地域との連携を図る上での課題

「在宅系サービス」「施設系サービス」事業所共に、「職員数に余裕がない」「地域との連携を図るための時間がない」の割合が多くなっている。

①在宅系サービス事業所



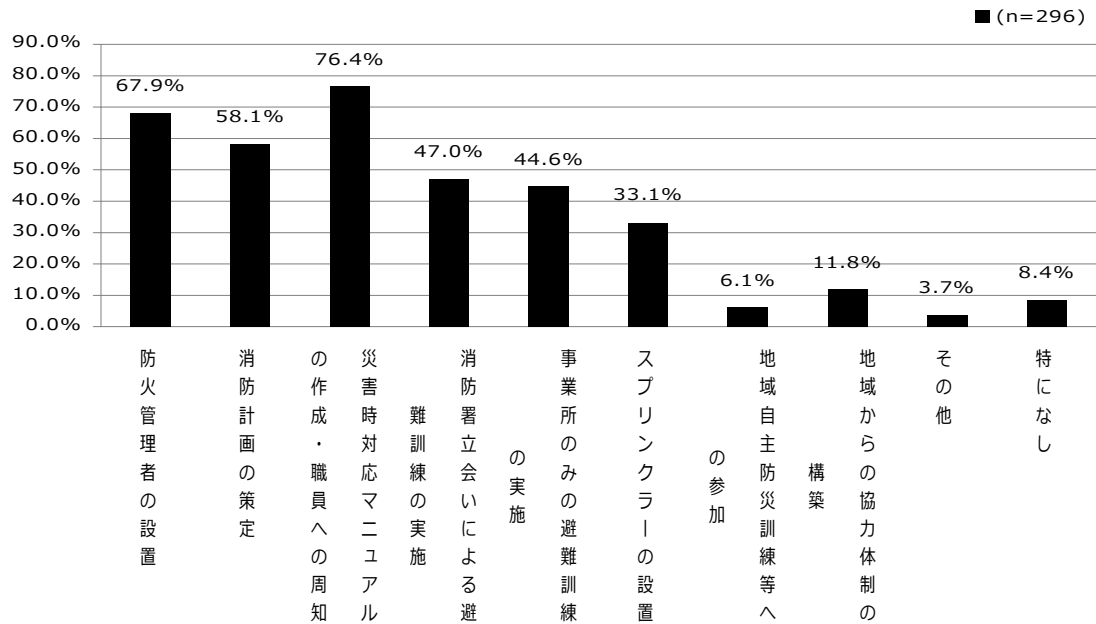
②施設系サービス事業所



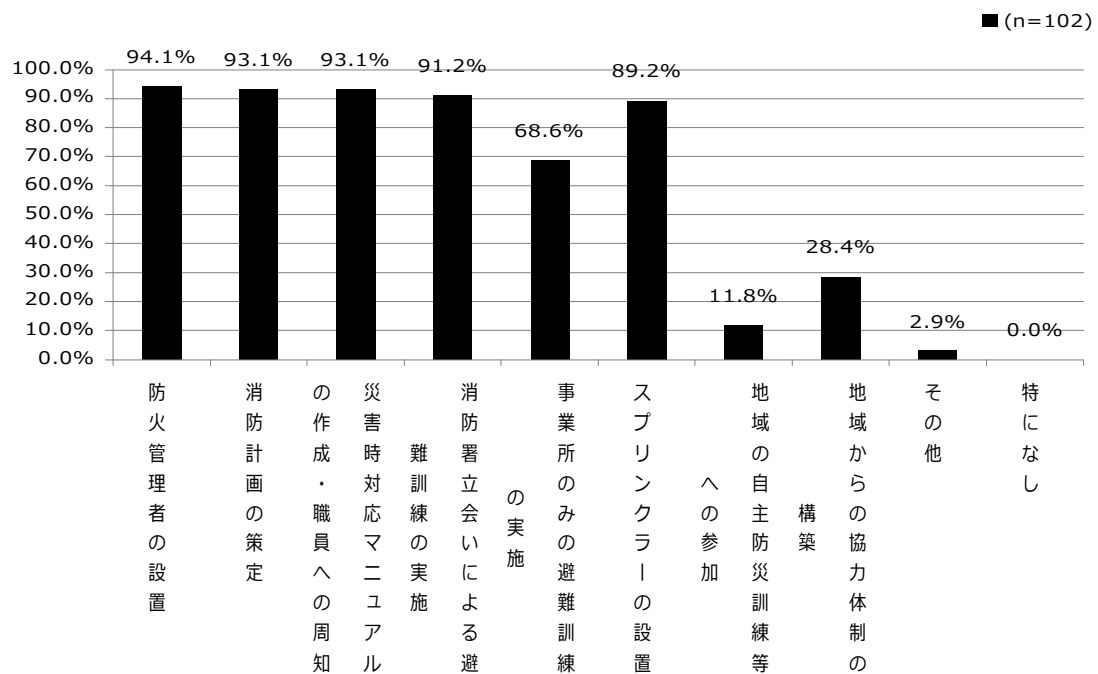
(6) 防火安全対策の実施状況

特に防火安全対策が重要な「施設系サービス事業所」においては、すべての事業所が何らかの防火安全対策を行っている。

①在宅系サービス事業所



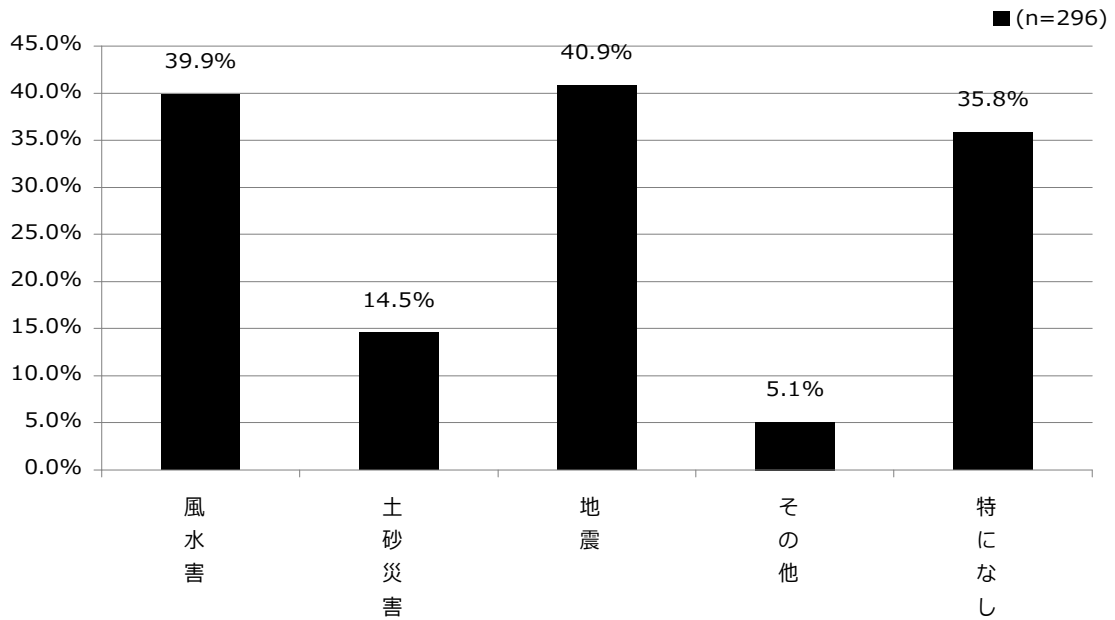
②施設系サービス事業所



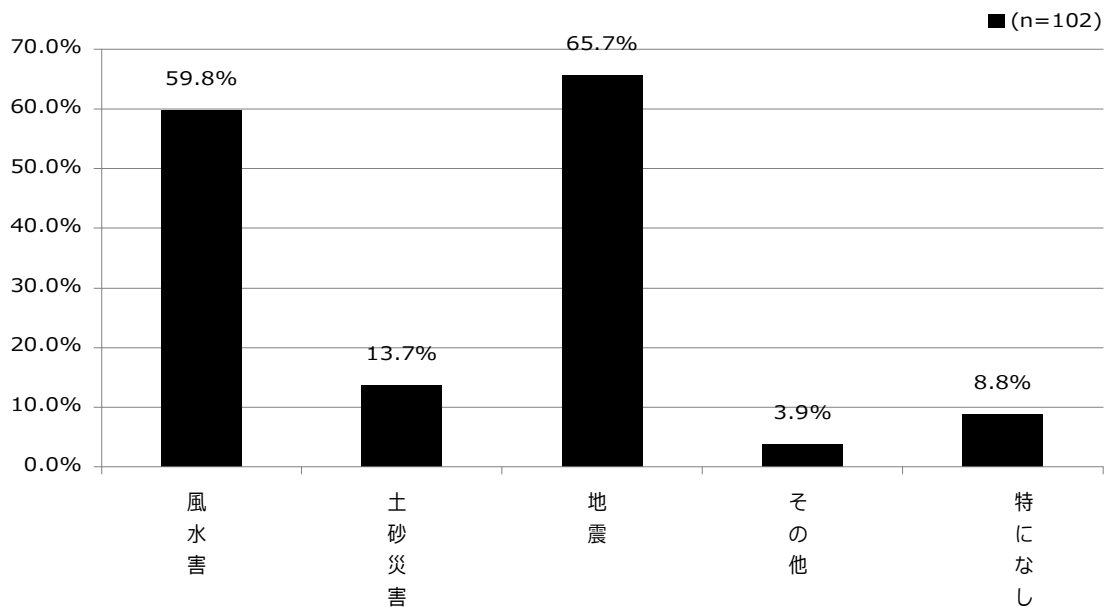
(7) 火災以外の災害対策実施状況

在宅系サービス事業所において、防火安全対策に比べると取り組みをしている事業所が少ない。

①在宅系サービス事業所



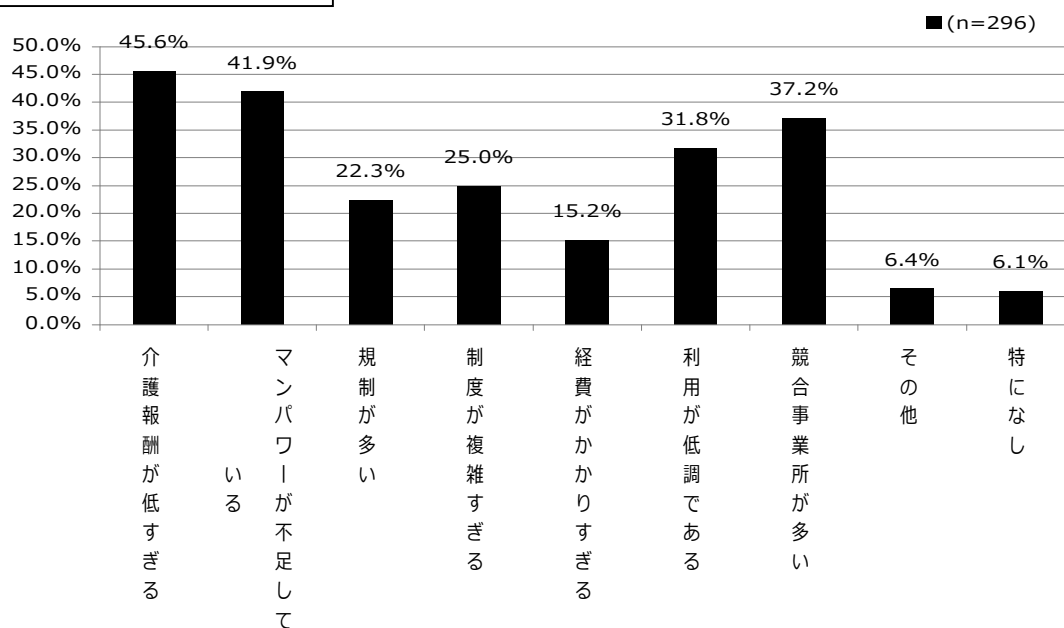
②施設系サービス事業所



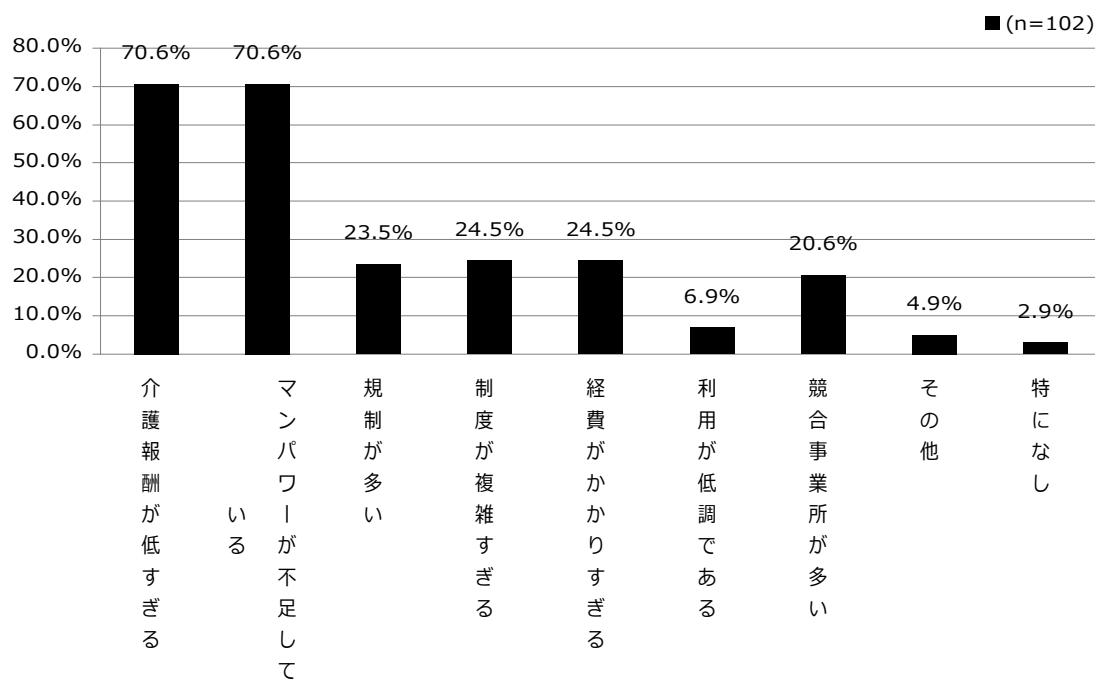
(8) 事業所の運営上の課題

「在宅系サービス事業所」、「施設系サービス事業所」、「居宅介護支援事業所」のすべてにおいて「介護報酬が低すぎる」が最も多くなっている。「在宅系サービス事業所」では、「競合事業所が多い」が37.2%、「施設系サービス事業所」では「マンパワーが不足している」が70.6%、「居宅介護支援事業所」では「制度が複雑すぎる」が46.3%と、回答した事業所の割合がほかの比べて多い。

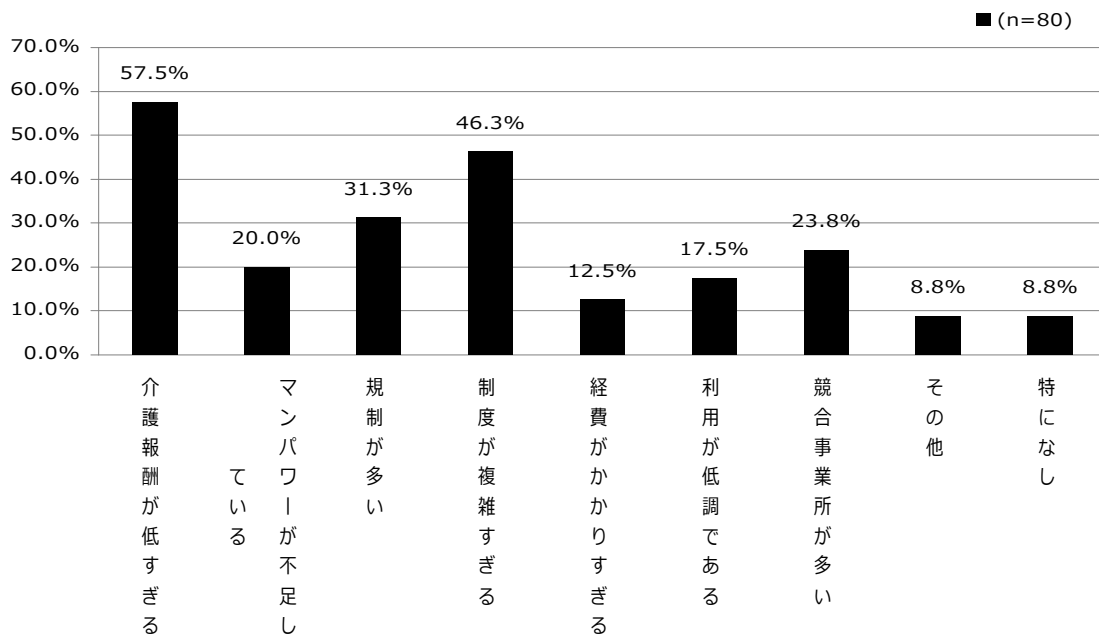
①在宅系サービス事業所



②施設系サービス事業所



③居宅介護支援事業所



5 調査結果から見えてくる現状と課題

(1) 介護従事者の安定確保、質向上支援について

従業者の過不足状況、サービスの質向上を図る上での課題、事業所の運営上の課題を見ると、市内事業所の多くが職員数に余裕がない状況であると考えられます。介護従事者の確保支援を始め、質向上のための研修支援や事業者間、従事者間の連携支援を充実させていく必要があります。

(2) 地域との連携について

ほとんどの事業所において何らかの取り組みを行っていますが、地域との連携を図る上での課題に対する回答内容を見ると、職員数や時間に余裕がない状況で取り組んでいる状況であると考えられます。介護保険サービス事業所と地域との連携は、利用者が安心して生活するに当たって重要な事項であり、スムーズな連携が図れるよう、情報提供等の支援を行う必要があります。

(3) 防災対策について

防火対策に比べ、風水害・土砂災害・地震への対策を実施している事業所が少ない状況になります。運営基準では、訪問介護等の訪問系サービス以外の事業所に対して、火災、風水害、地震その他の非常災害に関する具体的計画を立てることを求めており、事業所研修会等における防災意識の徹底や、集団指導や実地指導等の際に防災対策の点検・指導をより強化していく必要があります。

